

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	津波建築システム小委員会	主 査 名：藤田謙一 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築委員会	委員長名：藤田謙一
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>東日本大震災後に海洋建築委員会が提案した津波フローティングシェルターなど、津波に対する建築物のシステムについて、調査・研究を行う。</p> <p>初年度：津波避難システムの事例調査，および津波避難建築物のイメージ構築 2 年度：浮上システムの調査 3 年度：日常時と非日常時（津波遡上時）の両方に必要な機能および性能の調査 4 年度：調査・研究成果の公表</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：藤田謙一（千代田化工建設） 幹事：矢代晴実（防衛大学校） 委員：池田義人（職業能力開発総合大学校）、遠藤龍司（職業能力開発総合大学校）、近藤典夫（日本大学）、桜井慎一（日本大学）、嶋原良典（防衛大学校）、関洋之（梓設計）、菅原遼（日本大学）、濱本卓司（東京都市大学）、増田光一（日本大学）、松井徹哉（名古屋産業科学研究所）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2018 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	1. 海洋建築部門研究協議会「津波防災への取組と課題」 参加者数 34 名 『同名資料』
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 今年度はこれまでの活動成果として、浮揚建築の可能性および浮体式シェルターに関する既往研究および実績に関する調査・研究成果をまとめ、海洋工学シンポジウム、大会研究協議会で公表した。以上により活動目標をほぼ達成した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし